

広報 いまり

昭和49年 8月19日
第3種郵便物認可

毎月1日発行 定価1部20円 昭和53年12月1日 伊万里市役所総務部秘書課発行 No.298

♪もういくつ寝るとお正月♪今年もあますところわずかになりました。くる年に向けてしめなわがつくられています。来年もよい年でありますようにと。

(写真は、脇田町平山の池田ツネさん)

53

12月

特定不況地域に伊万里が指定

閣議で決定

政府は11月17日の閣議で、中核企業の不振で不況に陥っている地域を救済する特定不況地域中小企業臨時措置法（不況地域法）の対象となる「特定不況地域」に、伊万里市が指定されました。

全国で30地域指定

政府が閣議で決定した特定不況地域は、九州では伊万里市と佐世保市（長崎県）・大牟田市（福岡県）・佐伯市（大分県）延岡市（宮崎県）などの8地域で、全国で30地域（33市町）が指定を受けました。

これは、8月末に緊急措置として指定された17市町に、今回新たに16市町を追加したものでこのほか特定不況地域と密接な

関係にある隣接市町村も「関連市町村」として、全国で71市町村が、本県では多久市が指定を受けました。

きめ細かい救済措置を

特定不況地域に指定された地域の中小企業は、救済のため、不況地域法により低利の緊急融資や設備近代化資金の返済猶予期間の延長、税制上の特別措置などのきめ細かい救済措置がとられます。

起死回生の妙薬に

最大限の成果に努力

伊万里市の基幹産業の造船・合板企業は、市内の全工業出荷額738億円（昭和52年度）のうち、65%の480億円を占めていますが、不況は深刻で出荷額は年々減少しており、本年度の予測では前年度比42%減の278億円への落ち込みが見込まれてい

ます。それだけに、今回の特定不況地域指定は、不況にあえぐ本市にとっては期待も大きく、指定陳情に何度も関係機関へ足を運んだ竹内市長は「これを起死回生の妙薬にして、対策から最大限の成果を生むよう努力したい」と語っています。

九州・山口の特定不況地域



特定不況地域

中小企業対策臨時措置法

先の臨時国会で成立したもので11条からなり、58年6月30日までの時限立法です。

目的は、特定の不況業種に依存度の大きい地域(市町村単位)で、これらの特定企業が不振に陥ったあおりで直接、間接に打撃を受けている中小企業の救済をするものです。

特定不況地域に指定された地域の中小企業は、特定企業の影響が全くないものを除いて、低利の緊急融資（影響の大きさにより年利6.1%と6.6%の2種類）を受けられるほか、税制上の優遇措置も適用されます。たとえば特定企業の従業員が減ったために売り上げが落ちた食堂・理髪店などにも適用されます。

しだすと、それは世のいましめとはならないで悪が悪を呼ぶ連鎖反応となりかねない。

最近の児童生徒の自殺など連鎖反応の様相が多く、このような場合には、しばし悪のニュースをシャットアウトしていただきたい。

さて、国内や県内のトップニュースはいずれ報道されるとして、伊万里市には幸い良いニュースがある。

その一つは渭水クラブの全国少年野球優勝で、しかも伊万里の場合、末端までのスポーツの普及があつての優勝であり、これが本当の優勝というべく、従つてこれからあとも期待される。

そして、スポーツクラブがふえるとマナーがよくなり、体力づくりが社会づくりにつながる。

事実、児童や生徒の挨拶が目立つようになり、一方非行を少なくしている。

私は今年のはじめに、昨年の体力づくり日本一について社会づくり世界一を提唱したが、それが地道に浸透していることは、一年を振り返って何よりも嬉しい。

創立50周年を迎えた図書館

芳香ただよう思い出

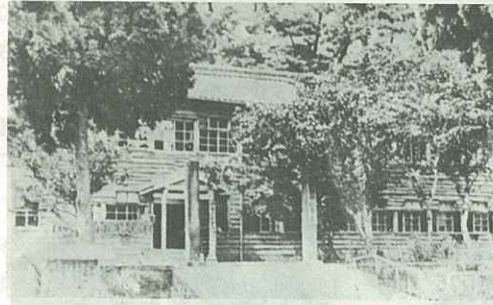
伊万里出身の詩人、片岡繁男さんは、図書館創立50周年記念誌の寄稿文に『伊万里の図書館を思いうかべると金木犀の芳香がただよってくる。図書館の裏門に（いや、そこは裏木戸というのがふさわしいかもしれないが）太い幹の木犀があった。そうして私の臉のおくに、図書館の窓ごしの銀杏の落葉や河岸のからたちの白い花がかがよってくる。』（中略）『入口の硝子戸に手をかけると、それは一度ガクンと小さくうなづいてから、ところどころ釘の出っぱりが見える金属のレールの上を奇矯な音をたてて軋み開く。』と思いを書いておられます。

図書館は昭和3年6月、旧伊万里実科女学校内に開館され、その後、伊万里町公会堂、旧伊万里町役場跡などに転々とし、昭和45年に中央公民館2階に移転して現在に至っています。

近く図書館建設審議会設置 市長があいさつの中で

創立50周年を迎えた図書館は11月11日、市民会館で記念式典を行いました。

竹内市長は祝辞で「図書館が中央公民館の一角を間借りして8年、創立50年を今の状態を迎



▲昭和3年創立当時の伊万里図書館

えることは、私自身、抵抗と悩みを感じています。幸い50年の記念の年でもあり、今年を起点に視聴覚など巾広い活用がで

きる時代に適した図書館の建設を進めるために、近く図書館建設審議会を設置したい」と述べました。

また、記念行事として、伊万里出身の詩人・作家の片岡繁男さんの「伊万里の山河は私に何を教えたか」の講演がありました。

若者の手で交通安全を

市青年団が運転コンテスト

市連合青年団（田中耕太郎団長＝683人）は、交通安全運動を若者から広げようと、11月11日～12日の2日間、学科と実技による講習会を開きました。

この講習会では、学科は全団員を対象に交通ルールの試験をし、実技は各町団代表（男2・女1名）ら40名によって、運転競技が伊港自動車学校の練習コースで競われました。

実技では、安全運転の合格点（80点）に達した人は1人もなく、最高点で55点でした。ふだんはベテランドライバーと自負

していた人も、こんなはずではなかったかと、安全運転のむずかしさを身にしみていました。

講習会の結果、各団対抗の成績は1位＝大川町、2位＝南波多町、3位＝波多津町青年団でした。



▲自動車学校の練習コースで安全運転実技コンテスト中の青年団員

もう何年前にもその事を考え、新聞社の人と話したことがあるが、善行はニュース性に乏しいのか、なかなか取上げて貰えない。人間は善を志向しながらも悪のニュースには、つい耳をそばだてる。従って人間の性向が改まらない限り悪のニュースはそのメリックを失わないことになる。ただ悪のニュースが氾濫

を聞くことになった。昭和五十三年も師走の声を聞くことになった。よく国内の十大ニュース、県内の十大ニュースが報道されるが、例年悪いニュースの多い中で、今年は一休良いニュースがあるだろうかと心配される。先般行われた青少年の育成会議で、この頃余りにも青少年の暗いニュースが多く、新聞の三面記事に半分は青少年の善行も取り上げたいという訴えがあった。

昭和五十三年も師走の声を聞くことになった。よく国内の十大ニュース、県内の十大ニュースが報道されるが、例年悪いニュースの多い中で、今年は一休良いニュースがあるだろうかと心配される。先般行われた青少年の育成会議で、この頃余りにも青少年の暗いニュースが多く、新聞の三面記事に半分は青少年の善行も取り上げたいという訴えがあった。



あなたと
考える

青少年の健全育成

すこやかな成長を願って



気軽に話し合える家庭づくりを

全国青少年健全育成強調月間（11月）に続いて12月16日から冬の強調月間が展開されますが県内の青少年の非行は、県少年非行統計によると、昭和50年以降は高い水準で横ばいからしだいに増えてきています。

市においても、小・中・高校生の非行が青少年非行全体の約50%（S53.11.20現在）を占めており

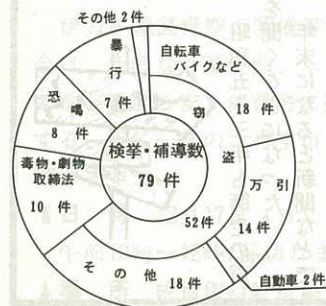
その内容を見ると、いわゆる遊び型非行が多く、集団化、悪質化の傾向を示しています。

わたしたちは、これらの実態を正しく認識し、地域ぐるみの環境浄化につとめなければならないと思います。また、この問題を考える時、最も大切な家庭でのあり方について、暖かい雰囲気でも気軽に話し合える

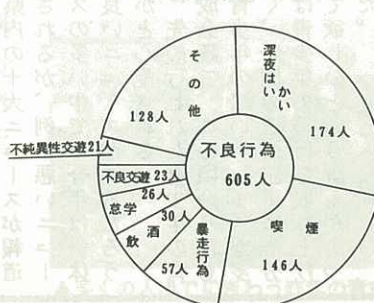
市内における青少年の非行の実態

（S53.11.20現在 伊万里警察署調）

犯罪（触法含む）少年検挙補導状況



行為別補導状況



身近な問題として取り組みを

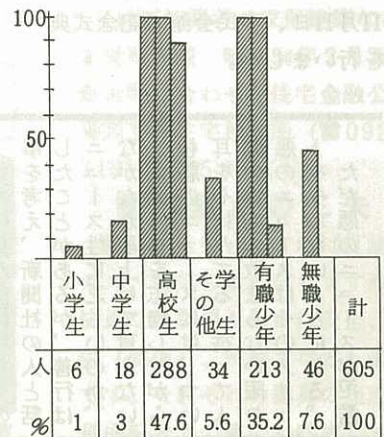
佐賀県青少年健全育成条例が施行されて、ちょうど1年たちました。

急激な社会の変化の中で、青少年をとりまく環境も著しく変わってきています。それにつれて、非行の実態も大都市から地方へと広がってきており、以前は新聞などで報じられても、都市の出来ごととして、すまされていたのが、最近では私たちの身近な問題となってきています。

条例制定一周年を機会に、もう一度青少年をとりまく社会環境をみつめなおし、非行や事故から子供を守るため有害な環境を除去し、明るく楽しい社会づくりに一人ひとりが取り組みましょう。

ムードを作り出すことが大事で度を越した過保護家庭や、子どものことを顧みない放任家庭に非行の芽が生じています。

学職別不良行為少年



明日をになう若者を育てよう

冬の青少年育成強調月間運動 12/16～1/15

社会参加の実践活動を

冬の青少年育成強調月間が、12月16日から1月15日にかけて全県的に行われます。

明日をになう青少年を健全に育てることは、社会の一員である私たち一人ひとりにとって大きな課題の一つです。

青少年の非行化をふせぐには現場での補導といった直接的な非行防止策の拡充はもちろんで

スポーツで社会参加を

地域で高校生球技大会など

青少年が生きがいを感じるときは、スポーツや趣味にうちこむとき(43.5%)で、次に友人や仲間といるとき(38.8%)となっています。

青少年は若いエネルギーを心から語り合える友とスポーツによって発散させたがっています。また、それが青少年を健全育成に結びつける要因でもと思われる。

こういったことから、各町青少年育成会では、スポーツによる青少年の育成を進めており、特に地域社会との接触がうすい高校生の社会参加をはかるため球技大会(ソフト・バレーボール)などを催しています。



▲国見台で行われた高校生球技大会

すが、家庭をはじめ地域社会など、あらゆる生活を通して、自立心や社会的連帯感を身につけさせることも大切です。

今、地域では青少年の社会参加の実践活動が行われています

「家庭の日」は親子の対話を

親と子の対話をすすめ、明るく健全な家庭をつくるため、毎月第1日曜日は「家庭の日」とされています。

あなたは「家庭の日」が定められていることをご存知でしたか!! — 親と子の心のふれあいのある日をつくりましょう —

楽しく竹馬・タコづくり

子ども遊具手作り教室で

手作りの遊びを通して豊かな青少年の育成をはかろうと「子ども遊具手作り教室(市教育委員会主催)が、11月20日、波多津小学校で青年会議所の応援を受け行われました。

これは青少年健全育成強調月間の行事として取り上げたもので、4・5年生(52人)は竹馬6年生(41人)はタコづくりを



青少年のシンボル 青い羽根

青少年の健全育成を願い、そのシンボルとして「青い羽根」が県で作成されました。

青色は希望の青い鳥であり、青い海のごとく青少年の無限の可能性を示しており、また青少年の「青」を意味としています。次代をになう青少年の健全育成を願って、あなたの胸にも「青い羽根」をつけませんか!!



▲波多津町の子供遊具手作り教室
しました。

竹馬やタコを作るのは初めてという子どもばかりで、悪戦苦闘しましたが、自分で作った遊具に喜びと満足感を味わいながら楽しそうに遊んでいました。

青少年育成強調月間

ポスター・作文募集

市青少年問題協議会では、冬の青少年育成月間ポスターと作文を募集しています。

▲応募要領 市内居住の小・中高校の児童・生徒で未発表の作品(1人1点)

◎ポスターの部

用紙は4つ切判で、定められた

標語や文字を主題とします。

◎作文の部

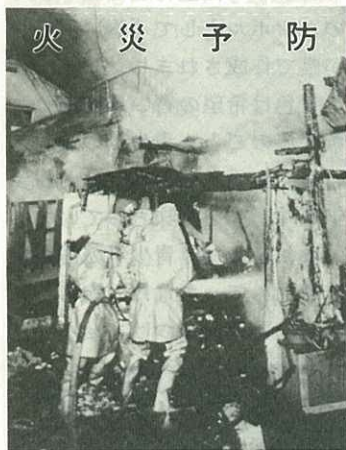
400字詰原稿用紙に小学生は2枚、中・高校生は3枚以内で、「家庭の日」か「私の夢や希望」のどちらかを主題とします。

▲提出先と締切

学校でまとめて各町青少年育成会(公民館)へ12月15日まで、詳しいことは公民館か学校へ。

年末年始 みんなそろって楽しい正月を

12月は1年の締めくくりの月であり、ふだん落ちついている先生も走り出す(師走)というほど忙しく、あわただしい月でもあります。その上、毎年12月は、交通事故や火災発生などが、ふだんの月より増える傾向にあります。私たちの周囲からこれらを無くし、みんなそろって新しい年を迎えたいものです。



火 災 予 防

年末警戒 28日～30日

年末から年始にかけて、例年空気が乾燥し、強風の吹く日が多くなり、加えて暖房器具などの火気使用がグンとふえます。

また、この時期は、忘年会、クリスマスと飲酒や外出の機会

が実施されました。

この期間中の飲酒運転検挙は16件で、昨年同期に比べて10件も減りました。(左下の表は調査期間が異なるため数値が一致しません)また、事故も人身が17件で6件減、物損は7件で2件減と少なくなり、かなりの効果をあげました。

コンクールは、町別(13町)を人口規模に応じた基礎点から事故発生件数による減点数を差し引いて得点を出すもので、その結果、優勝は期間中に飲酒運転の検挙が1人も出ず、事故も少なかった山代町で、2位は二里町、3位は立花町でした。

第2回のコンクールは、年末年始の交通安全運動に合わせ、

12月20日から1月10日までです

市民一人ひとりが自覚して飲酒運転の防止につとめなければ絶滅はできません。みんなで交通事故「ゼロ」への願いをこめて、立ち上がりましょう。

が増え、火に対する注意が、ややもするとおろそかになりがちです。

火災発生原因の80%がちょっとした不注意や安易な火の取り扱いによるもので、尊い生命や財産が失われています。

市消防団では、年末の火災防止のため、12月28日から30日まで年末警戒を行います。

市民一人ひとりが火災予防に心がけ、住みよい安全な町づくりに努めましょう。

広 報 こ よ み

- ・毎週月曜日 消費生活相談
- ・毎週水曜日 内職相談
- ・毎週金曜日 社会保険相談
- 5日 人権相談(中央公民館)
- 6日 人権相談(大川公民館)
- 13日 人権相談(山代公民館)
- 20日～年末年始交通安全運動

12月の市民会館行事

- 1日(金) 8時～17時
- ・人形劇「3匹の子ぶた」
- 2日(土) 13時～22時
- ・ライラック合唱団演奏会
- 3日(日) 9時～16時
- ・慰霊祭(市連合遺族会)
- 9・10日(土・日) 13時～17時
- ・市連合青年団「文化祭」
- 17日(日) 8時30分～16時
- ・子供劇場「たつの子太郎」
- 18日(月) 10時～12時
- ・安全運転管理者研修会
- 25日(月) 9時～12時
- ・小中学校教育研究大会

交 通 安 全

飲酒運転追放コンクール

秋の交通安全運動をきっかけに、飲酒運転を地域から追放しようと、第1回町別飲酒運転追放コンクール(主催=市交通対策協議会・伊万里交通安全協会)が、9月21日から10月25日まで

町別飲酒運転検挙者数

(昭53.10.31現在 伊万里警察署調)

| 町名 | 1～9月 | 10月 | 計 |
|------|------|-----|-----|
| 伊万里 | 67 | 5 | 72 |
| 黒川 | 7 | 0 | 7 |
| 波多津 | 10 | 2 | 12 |
| 南波多 | 9 | 1 | 10 |
| 大川 | 10 | 1 | 11 |
| 松浦 | 8 | 3 | 11 |
| 二里 | 11 | 0 | 11 |
| 東山代 | 13 | 0 | 13 |
| 山代 | 8 | 0 | 8 |
| (市外) | 68 | 7 | 75 |
| 計 | 211 | 19 | 230 |



▲市民体育祭開催 スポーツ都市宣言1周年を記念して、市民体育祭が開催されました。(10/29)



▲竹の古場公園に記念植樹 玄海国定公園指定10周年を記念して、八重桜42本が植樹されました。(10/31)

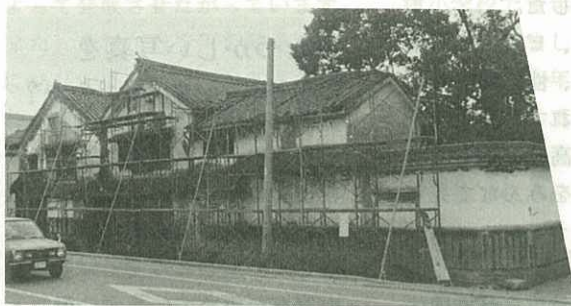


▲市農協創立30周年記念農業祭 農産物の即売会や、バザー、農機具の展示会など各種の催しでにぎわいました。(11/11~12)

いま伊万里で



▲米寿・金婚の菊花展 波多津老人クラブは菊花展で米寿・金婚を祝いました。(10/30)



◀白壁土蔵を記録保存 郷土の文化財「白壁土蔵」の記録保存のための調査が行われました(今町 武富家)



▲市長旗争奪少年野球大会 国見台野球場で開催(10/29)



▲市内施設めぐり 参加者150人は市内の施設8か所を訪れ、発展する伊万里の姿を見学しました。(市議会議場で、11/7)

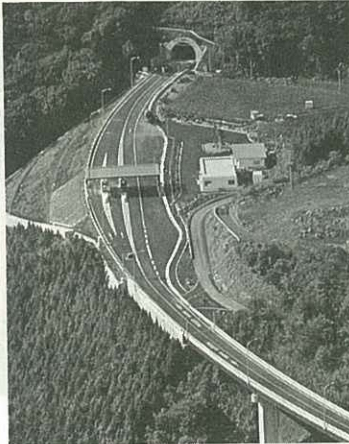
国見有料道路が開通1周年 通過車両52万台を突破

伊万里市と佐世保市を結ぶ国見有料道路が開通して、11月30日で1周年を迎えました。

これまでの通過車両は10月末日までに約52万台、営業収入は約1億5,000万円ありました。

秋は観光シーズンで通過車両も多く、10月だけで5万544台で、伊万里くんち（20～22日）は約5,000台が通っており、伊万里、佐世保圏の結びつきを深めていることがわかります。

特に、伊万里側からの展望と紅葉は美しく、日曜祭日は観光ドライバーでにぎわっています。あなたも、ご家族でお出かけ



▲国見トンネルと料金徴収所

になりませんか。

通行料金は普通車300円、軽自動車は200円です。

がんばったね照子さん

教育委員会が個人28人と3団体を表彰

伊万里中学校3年の山口照子さんは、両足の不自由にも負けず、逆境を克服して勉学に励み強く明るく生き抜くことの尊さを身をもって示し、校友に大きな感銘を与えたと、11月10日、市教育委員会から表彰を受けられました。

照子さんは、生まれたときから両足が不自由で、県立養護学校整肢学園（小学）に進み、手

術を受けて2年生のとき伊万里小学校に転校、中学に入ってから大手術を2回もするなど、逆境の中で、ひたむきに勉学に取り組んできました。

習字は2級で、ピアノは7年間も続けており、性格は明るくだれからも好かれています。

来春は卒業で高校に進学です。照子さんの健闘をみんなで見守ってやりましょう。

このほか、学問的にも貴重な雌雄団体の珍しいチョウなどを採集した川上はな子さんら教育に功績のあった個人27人と少年野球で日本一になった潤水クラブなど3団体を表彰しました。



▲がんばったねと表彰を受ける山口照子さん

市の人口

(11月1日現在)

| | |
|-----|----------|
| 総人口 | 60,996人 |
| 男 | 28,883人 |
| 女 | 32,113人 |
| 前月比 | + 28人 |
| 世帯数 | 16,218世帯 |



10月

貿易額は8億5,700万円で、前月比2億1,200万円の減

輸入

原木だけで8億5,700万円、内訳は南洋材5億8,000万円、米材2億7,700万円

船舶の入港

日本船3隻、外国船13隻（パナマ5、リベリア3、大韓民国3、インドネシア2）の計16隻で、前月比2隻の減

なつかしい写真を

お持ちではありませんか？

伊万里市郷土研究会は「ふるさと」の思い出——明治・大正昭和の写真集を編集するため、皆さんの家庭に残っている、古い写真を集めています。街並・官公街・教育・産業・店舗・祭礼・行事・災（水）害・娯楽・史跡・戦時中などの思い出に残るような、なつかしい写真をお持ちの方はぜひご協力ください。昭和54年1月末日まで、市立図書館または各町公民館で受け付けています。

—年金コーナー—

国民年金の特例納付

最後のチャンス

国民年金の老齢年金は保険料を納めた期間と免除期間の合計が25年以上あり、年齢が65歳に達していることが受給要件です

しかし、保険料を納めるのを忘れていたり、国民年金に加入していなかったりすると、年金を受給できない方ができます。この「無年金者」を救済しようと今年7月から「特例納付」制度が設けられました。

・特例納付ができる方

昭和53年3月以前の国民年金強制加入期間のうち、時効によ

って保険料が納められない滞納期間のある方（任意加入期間は除く）

・さかのぼって納める額

過去の滞納期間1か月について4,000円の割合で、一括または分割で納められます。

・特例納付のできる期間

昭和53年7月から昭和55年6月までの2年間

もし、あなたが国民年金の特例納付にあてはまれば、市役所年金係（☎③ 2111 内線216）で今すぐ手続きしてください。

『青色申告・自主納税都市』宣言

11月8日、市民会館に市民約500人が参加して「青色申告自主納税都市」宣言大会が開かれました。

これまでは伊万里町の6商店街が、青色申告・自主納税の街を宣言し、普及啓もうに努めてきましたが、これを市内全域に広めようと、市・商工会議所・農協団体が主唱し、税務署や法人会青色申告会などの協賛を得て都市宣言を行ったもので、県内7市では初めての宣言です。

これは、納税者の正しい記帳による申告“青色申告制度”を

ひろく普及し、自主納税の意識を高め、青色申告の利点を生かした経営の近代化・健全化をはかろうというものです。

大会では「正しい記帳による申告と自主納税によって明るい家庭をつくろう」など4つのスローガンを満場一致で採択しました。

青色申告とは

納税者が一定の帳簿を備え、正しい記帳にもとづいて正確な所得を計算し自主的に申告することで、青色申告される方には次の特典があります。

- ・青色専従者給与が必要経費に算入される。
- ・青色申告控除として所得から10万円が控除される。
- ・家事関連費が必要経費として特別算入される。
- ・その他、引当金繰入額など33項目の特典があります。

ごみ収集・し尿汲み取り

年末年始は休みます

年末年始の「ごみ収集」と「し尿汲み取り」を次のとおり休みますので、ご協力ください。

〔ごみ収集〕

▲期 間 12月30日～1月3日
▲該当地区 第5土曜日不燃物ごみ収集区域を除く市内全域

〔し尿汲み取り〕

▲期 間 12月31日～1月4日
〔焼却場、衛生処理場、不燃物処理場の休業〕

▲期 間 12月31日～1月3日
※第5土曜日不燃物ごみ収集地区は今月の収集日が12月30日となっていますが、23日から26日の間に収集します。該当地区は22日までに所定の場所に出してください。

成人病・妊婦健康診査

▲期日と場所

- ・12月12日（火）波多津公民館
東山代公民館
- ・12月19日（火）黒川公民館
南波多公民館

▲成人病相談 血圧測定など

・時 間 10時～11時30分

▲妊婦健康相談 妊婦、分娩、産褥期の保健衛生など

・時 間 13時～14時30分

1歳6か月児健康診査

▲対象者 昭和52年5月生まれの幼児（市内全域）

▲日時と場所

- ・12月21日（木）受付13時30分から14時30分まで
- ・市役所4階大会議室



▲市民会館で行われた宣言大会

伊万里総合高等職業訓練校

訓練生・受講生募集

伊万里総合高等職業訓練校では訓練生および受講生を次のように募集しています。

〔養成訓練生〕

▲募集科と人員

- 機械科 25人
- 自動車整備科 15人
- 塗装科 10人

▲応募資格 中学卒業者および昭和53年度卒業予定者

▲訓練期間 2年

▲応募締切 昭和54年2月中旬

〔成人（在職者）職業訓練生〕

▲訓練内容と対象者

○機械、配管、塗装の各業種に従事している方で、監督業務に

ついたり、技能に関して開発、追加、補習などの必要な方を対象とします。

▲受付と受講料

随時受付で受講料無料

〔一級・二級技能士通信講座〕

職業訓練大学の通信講座を通じて、現場の技能者育成を目的とします。

▲訓練期間 標準1年

▲申し込み 随時受付

▲受講料

一級技能士通信講座 8,000円

二級技能士通信講座 6,000円

※詳しい事は伊万里総合高等職業訓練校（☎⑧-0155）へ

〒郵便局だより〒

郵便業務の混雑をさけるため贈答用等の小包は12月15日までに、年賀状は12月20日までにお願いします。特に小包は遅くなると年内に届かない場合があります。

☎でんでん☎

毎年交換する年賀ハガキにも住所や郵便番号といっしょに電話番号も書きましょう。

ふだんなかなか会えないだけに声を聞くのもうれしいものです

住宅金融公庫

— 現在受付中のもの —

- 大型個人住宅建設資金 (120～150㎡の住宅)
- 個人住宅特別貸付 (公共事業の移転者など)
- 住宅積立郵便貯金預金者貸付 (郵便局のあっせん者)
- 住宅改良資金 (住宅の増・改築・修繕)
- ▲受付期限 昭和54年1月31日
- 一般建売住宅購入資金 (土地と建物の同時購入)
- ▲受付期限 昭和54年3月31日
- 財形住宅資金 (財形貯蓄者の家屋建築など)
- ▲受付期限 昭和54年2月28日

※お問い合わせは住宅金融公庫福岡支所住宅相談所（☎092-712-5555）へ

暖房器具の工夫

経済性を第一にすれば灯油、ガス、電気の順になりますが、快適な暖房のためには安全、衛生（健康）、便利さなども必要です。それぞれの器具の短所・長所を考えて使いわけましょう

— 今月は —

歳末特別貯蓄増強運動

— 月間です —

今月は「歳末特別貯蓄増強運動」月間です。生活の合理化や計画化をはかり、児童生徒や勤労青少年に健全な金銭観、貯蓄観を身につけさせるためにも貯蓄の重要性について、もう一度考えてみましょう。

- みんなの貯蓄で明るい社会。
- 伸びる子どもに貯蓄のしつけ

— 生産者と消費者の心を結ぶ —

青 空 市

12月17日（日）

伊万里地区青空市開催等協議会は、新鮮な野菜や卵、くだものなどをより安く消費者に提供する、年に一度の「青空市」を開きます。

▲日 時 12月17日（日）
午前10時～12時（品切れまで）

▲場 所 佐賀銀行駐車場



▲多くの人出でにぎわう昨年の青空市

次の方からご寄付をいた
だきました。厚くお礼申し
上げます。(敬称略)

社会福祉事業費へ

- ◆ 香典返しを寄付
 - 前田澄男(大川内町吉田)
 - 亡父留市
 - 前田清馬(大川内町吉田)
 - 亡母ツル
 - 金子武男(山代町浦の崎)
 - 亡母ヒロ
 - 津上芳江(瀬戸町早里)
 - 亡父治郎
 - 松岡義男(黒川町畑川内)
 - 亡父太平
 - 大久保ユキエ(大川内町)
 - 平尾 亡夫村一)
 - 前田イソ(蓮池町 亡夫)
 - 亀助)
 - 中村益子(上仲町 亡夫)
 - 千代太郎)
 - 杉山政人(黒川町花房)
 - 亡父熊平)
 - 峯スエノ(二里町金武)
 - 亡母ナツ)
 - 横尾敏規(栄町 亡母チヨ)
 - 山口 新(松浦町上分)
 - 亡父助一)
 - 野林儀三(東山代町滝川)
 - 亡父鹿之助)

- 岩永邦喜(別府市南立石)
- 鶴見園町 亡母千代)
- 古川守彦(大川内町市山)
- 亡父竹二)
- 栗原卯吉(波多津町浦)
- 亡父平吉)
- 田中友一(波多津町中山)
- 亡妻ハツネ)
- 川原重敏(松浦町上原)
- 亡祖母ムラ)
- 山口辰馬(松浦町上分)
- 亡母チエ)
- 山口四郎(松浦町中通)
- 亡祖父廣次)
- 塚本洋雄(波多津町浦)
- 亡祖母ミツ)
- 小杉 繁(波多津町内野)
- 亡父新造)
- 吉武龍実(山代町楠久津)
- 亡父隆造)
- 長畑和子(立花町渚 亡夫實)
- 吉田與之助(瀬戸町中通)
- 亡妻ハマ)
- 日高亮三郎(大坪町六仙)
- 寺 亡母ヨシ)
- 田中貞美(波多津町田代)
- 亡父今朝五郎)
- 永島和夫(山代町鳴石)
- 亡父鹿之助)
- 大塚庄太郎(波多津町浦)

- 亡妻ケサ)
- 條島スミ代(黒川町奥野)
- 亡夫幸男)
- ◆ 篤志寄付
 - 四千元 牧野敏昭(東京)
 - 伊万里警察署経由)
 - 五千元 二里町川東青年
 - 団(代表福田満、外団員一同)
 - 式百円 溝上義隆(松浦町下分)

- 江川博海(立花台三丁目)
- 亡父嘉平次、父母の会指定)
- 波辺 勇(黒川町塩屋)
- 亡妻好子)
- ◆ 篤志寄付
 - 式万円 伊万里仏教会
 - (代表伊万里良照)
 - 歳末たすけ合い募金へ
 - ◆ 篤志寄付
 - 老万五千元 伊万里仏教会
 - (累計四〇八万九、五三七円)

- 亡父末次の香典返しを)
- 交通遺児救済基金へ
- ◆ 篤志寄付
 - 式万円 伊万里仏教会
 - (代表伊万里良照)
 - 波多津町コミュニティ
 - 推進委員会へ
 - ◆ 香典返しを寄付
 - 小杉 繁(波多津町内野)
 - 亡父新造)
 - 田中定美(波多津町田代)
 - 亡父今朝五郎)
 - 黒川町スポーツ障害基金へ
 - 條島スミ代(黒川町奥野)
 - 亡夫幸男の香典返しを)
 - 南波多公民館
 - 施設整備資金へ
 - 新久田カツ子(南波多町)
 - 井手野 亡夫三千史の香典返しを)
 - 松浦町教育振興積立基金へ
 - 山口 新(松浦町上分)
 - 亡父助一の香典返しを)
 - 大川内町公民館建設資金へ
 - 前田澄男(大川内町吉田)
 - 亡父留市の香典返しを)
 - 山代町コミュニティ
 - センター建設資金へ
 - 川久保清(山代町楠久)
 - 亡父恵吉の香典返しを)
 - 市民病院整備資金へ
 - 前田伸夫(二里町大里)



ありがとう
ございました

- ◆ 四万七千四百六拾壹円
- 市農協婦人部(会長副島郁子、外会員一同 農業祭の折のチャリティバザー収益金を)
- ◆ 式拾壹万九千参百五拾六円
- 市連合青年団(団長田中耕太郎、外団員一同「恵まれない子に愛の手を」街頭募金を母子家庭・交通遺児・身体障害者の方へ)
- 市身体障害者福祉協会へ
- ◆ 香典返しを寄付
- 前田伸夫(二里町大里)

こどものページ

さいゆうしゅうしょう 最優秀賞に村岡・前田さん

伊万里市子ども話し方大会

「明日を築く少年の集い」第12回伊万里市子ども話し方大会が、11月3日、市民会館で開かれ、各地区から選ばれた代表30人が、郷土や家庭生活などをテーマに熱弁をふるいました。審査の結果、小学生の部は、「私の発見」を発表した村岡明

子さんが、中学生の部は、「生徒会活動で学んだこと」と題し生徒会役員をして学んだ連帯と協力の大切さを、社会づくりに生かしたいと主張した前田荘子さんが最優秀賞に選ばれました。また、団体の部では、伊万里町子どもクラブが優勝しました

成績は次のとおりです。

団体

- 第1位 伊万里町子どもクラブ
- 第2位 二里町子どもクラブ
- 第3位 東山代町子どもクラブ

小学生の部

- 最優秀賞 村岡明子 (伊万里町)
- 優秀賞 西田吉輝 (東山代町)
- 優良賞 番場美里 (大坪町)

中学生の部

- 最優秀賞 前田荘子 (伊万里町)
- 優秀賞 島 恵 (東山代町)
- 優良賞 江口正子 (松浦町)

※中学生の部で最優秀となった前田荘子さんの発表は、1月号でお知らせする予定です。

私は、四年の時から、伊万里小学校のコーラス部にはいっています。小さいときから音楽も好きだったので、先ばい達がコンクールに優勝を重ね「優勝」というものが、かっこよく思えて、ただそのことにあこがれていたのです。

朝、七時すぎから始まっている、冬の練習。雪が降っても、広い講堂の中で、耳をちぢこまらせて歌い、手をかじかませながら、ピアノをひきました。

しかし、それを乗り越える事が、一番苦しい時だと思いが、苦しい時、自分自身に打ち勝つにんたいと努力こそ、本当の喜びにつながるものと思います。また、伊万里小学校コーラス部の伝統と栄光は、先生と、私達みんなの、血のにじむような練習の上に、成りたっていたことが、私の最大の発見でした。

ばらしい成績を収めています。その伝統をうけついで、今年は私達が先頭で、後はいをひっぱっていかねければいけないでした。その上、私は課題曲の伴奏者という大役にもあたりました。伴奏者になった以上、責任をもって、一生けん命がんばりました。

朝、七時すぎから始まっている、冬の練習。雪が降っても、広い講堂の中で、耳をちぢこまらせて歌い、手をかじかませながら、ピアノをひきました。

しかし、それを乗り越える事が、一番苦しい時だと思いが、苦しい時、自分自身に打ち勝つにんたいと努力こそ、本当の喜びにつながるものと思います。また、伊万里小学校コーラス部の伝統と栄光は、先生と、私達みんなの、血のにじむような練習の上に、成りたっていたことが、私の最大の発見でした。



私の発見

伊万里小学校 六年

村岡明子

末、今は、第四回目の連続優勝の喜びを、胸いっぱい味わっているのです。今また、続々と三、四年生が入部しています。

これは、先ばい達の努力で、佐賀県大会、連続優勝をはじめ全国大会でもすばらしい成績を収めています。その伝統をうけついで、今年は私達が先頭で、後はいをひっぱっていかねければいけないでした。その上、私は課題曲の伴奏者という大役にもあたりました。伴奏者になった以上、責任をもって、一生けん命がんばりました。

朝、七時すぎから始まっている、冬の練習。雪が降っても、広い講堂の中で、耳をちぢこまらせて歌い、手をかじかませながら、ピアノをひきました。

しかし、それを乗り越える事が、一番苦しい時だと思いが、苦しい時、自分自身に打ち勝つにんたいと努力こそ、本当の喜びにつながるものと思います。また、伊万里小学校コーラス部の伝統と栄光は、先生と、私達みんなの、血のにじむような練習の上に、成りたっていたことが、私の最大の発見でした。